

岐阜高専「海外インターンシップ報告会」を開催

岐阜高専は、高専祭公開日の10月27日に同校多目的ホールにおいて「平成25年度海外インターンシップ報告会」を開催した。

同校は、教育後援会からの寄付金により設立した国際交流基金からの援助により、平成15年度から専攻科学生を対象に、グローバルな視野を持ち、活躍できる技術者を育成するために海外インターンシップを実施している。

平成23年度までは、地元企業㈱TYKの支援により同企業の現地法人でのインターンシップを実施してきた。昨年度より包括交流協定等の締結を進め、4大学でのインターンシップ（短期留学派遣）の充実を推進し、JASSOのサポートを得て今年度は12名の実習生を送り出した。

報告会当日は、英国ダーラム・TYK Ltd., バンドン工科大学, マレーシア工科大学, ドイツ・ハノーバー大学, 米国アイオワ大学で実習した9名の専攻科生が、インターンシップにおけるスケジュール, 課題設定と考察, 費用, そして異文化での生活・物価等についてプレゼン発表を行った。人とのふれあいの温かみ, TOEIC スコアとコミュニケーション能力は必ずしも一致しないことなどを報告し, 招待された教育後援会の役員, 保護者, 一般の来校者, 教職員及び海外インターンシップに関心のある在校生等が, 来年度への実施・参加に向けて熱心に耳を傾けていた。



報告を行う専攻科生